

【バス時刻表 IPv6 バージョン】

バスの問題点

バスは予定時刻に来ないことがよくあります。予定時刻を過ぎてもバスが来ないと不安になったりイライラしたり。特にバスを使って通勤通学をする人はよくあることだと思います。

少しでも不安イライラを無くす為には

リアルタイムで到着時刻を変更できる、またバスの現在地はどこなのか。これが分かれば不安やイライラが少しでもなくせると私は思いました。現在のバス時刻表は到着時刻が明記された紙が貼り付けられているだけの物になっています。当然、紙なので書き換えが出来ません。そこで IPv6 を使ってリアルタイムで現在地が分り到着時刻も変更できる物を考えました。

IPv6 をどう利用するか

1. バスと各バス亭にある時刻表を IPv6 の技術を使ってリアルタイムで通信を行うことが出来るよう専用アンテナを取り付ける。
バスの運転席にはカメラが取り付けられていてバス亭にある時刻表に取り付けられているモニターに映像とバスの位置をリアルタイムで映し出されていて見ることが出来る。
2. バス時刻表をアナログからデジタルへ
IPv6 を使っていつでもバスと他のバス亭との通信を行えるよう IPv6 対応デジタル時刻表に変更する。
専用アンテナが付いたバスがバス停を通過すると自動で次のバス亭のバス到着時刻が予測計算されて IPv6 を使った通信で次のバス亭にデータが送られてリアルタイムで予定時刻が変えられる。

更にこんなことも……

バス運営会社と時刻表とも通信が行われていて IPv6 テレビ電話を使用して定期券の購入なども可能に。また年に二度の時刻改正でも一人一人バス亭を回らなくても時刻を変えられる、これで人件費も削減。

バス時刻表 IPv6 バージョン



1. モニター(停留所表示)
2. カメラ(テレビ電話用)
3. ボタン(これで隣のモニター画面を切り替えることができる)
4. メインモニター(バスなどの現在地が見れる)
5. 小銭投入口、おつり(小銭)出口
6. お札投入口、おつり・定期券出口
7. モニター(時刻表示)